

## 第1回 草津市上下水道事業運営委員会 会議概要

■日 時：

平成29年12月21日（木）10時00分～12時05分

■場 所：

草津市役所4階行政委員会室

■出席委員：

山田委員長、田中委員、青山委員、竹谷委員、鳴海委員、西谷委員、馬場委員、  
谷地田委員、山本委員

■欠席委員：

なし

■事務局：

寺西部長、辻川副部長、佐々野副部長、宮田課長、島田稔課長、島田恭課長、福井課長、  
平尾場長、寺尾参事、岩崎参事、松永参事、田中参事、安土副参事、中西副参事、  
中出専門員、長江主査、金谷主査、澤主査、江渕主任

■傍聴者：

なし

### 1. 開会

---

●事務局

本日ここに、草津市上下水道事業運営委員会を開催するにあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆さまにおかれましては、公私ともに御多用のところ、御出席いただき、厚く御礼申し上げます。

本委員会は、市民の皆さまの暮らしに欠かせない上下水道の安定した継続に向け、上下水道事業の運営にかかる重要な事項について御審議いただくため、平成24年度より設置をしております。平成23年度に、当委員会の前身であります「草津市水道ビジョン策定委員会」で9回の委員会を開催いただき、委員の皆さまの御支援をいただきまして、「草津市水道ビジョン」が策定できました。また、その後も委員の皆さまには、中間見直しや、「下水道経営計画」の策定にご尽力をいただきました。重ねて御礼申し上げます。

本日の委員会では、上下水道事業の現況や現在取り組んでおりますロクハ浄水場の耐震事業などについて御説明をさせていただきます。今後とも市民の皆さまに上下水道サービスを安定的に継続して提供し、さらに健全な事業運営を進めていくために、委員の皆さまの専門的な立場、また使用者の立場から、忌憚のない御意見を賜りますようお願いを申し上げます。開会の御挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

## 2. 委員紹介、事務局職員紹介

---

新任委員の鳴海委員、山本委員の紹介。事務局職員紹介。

## 3. 議事

---

(1) 平成28年度水道事業会計の決算の概要について

●事務局

< 資料に基づき説明 【資料2】P2～10 >

●委員

10%還元とは、何の10%でしょうか。

●事務局

上水道料金から10%を引かせていただいています。

●委員

10%の引き下げはありがたいと思います。できるだけ長く続けていただきたい。

●委員長

水道事業においては、健全に経営されていることがわかりました。

(2) 平成28年度下水道事業会計の決算の概要について

●事務局

< 資料に基づき説明 【資料2】P11～20 >

●委員長

一般会計負担金の中には赤字部分の補填があると思われる。その中で利益が出ているのはなぜですか。

●事務局

下水道につきましては、国で繰入基準を定められておりますが、滋賀県は琵琶湖を水源として抱えていますので、県でもルールを定め環境対策の部分について、下水道使用料に転嫁すべきではないとされています。草津市では、一般会計負担金のうち7割ほどが環境対策に係る部分として負担いただく経費となっています。また、高度処理に係る経費の1/2についても、基準外となりますが、財政部局と協議のうえ一般会計で負担いただくことになっております。その他、雨水整備に係る費用につきましても、これらのことから、利益の有無にかかわらず、一般会計負担金があるものです。ただし、農業集落排水事業については、赤字補填のものがあります。

●委員長

不明水に係る費用が大きいと思われるが、不明水対策の取り組みはいかがですか。

●事務局

不明水の原因としては、誤接続やマンホール等からの雨水の浸入が考えられます。雨の量が増えると処理量も増えるという傾向ですが、平成28年度は、年間を通して雨の量が少ない年でもあり、流域維持管理負担金の不明水対策に係る費用は減少しています。主な不明水対策としては、マンホール蓋の交換やカメラでの地下水の状況確認などを行っています。また、県全体としても対策検討に取り組んでいます。引き続き対策を講じていきたいと考えています。

●委員長

下水道事業については水道よりも経営が苦しいようですが、それでも他の事業体と比べると良いことがわかりました。

(3) 草津市水道ビジョンおよび水道事業経営計画の目標と実績について

●事務局

< 資料に基づき説明 【資料2】P21～26 >

●委員

23ページの表の3行目で「1-2-」となっていますが、これは正しいですか。

●事務局

数式ではなく、メチルイソボルネオールの物質名となっています。

●委員

24ページの数値欄が「-」になっています。目標は「-」でもよいのですが、実績としての数値はないのでしょうか。

●事務局

北山田浄水場につきましては、ロクハ浄水場の耐震工事が終わってから耐震補強にはいる予定で、まだ着手していないため「-」とさせていただきます。

●委員

25ページの水道業務経験年数度とは、どういうことですか。

●事務局

市の職員につきましては、人事異動により配置が変わります。経験年数の長い方が業務を熟知していることとなり、そういう現状を示しています。

●委員

水道と下水道で人件費が違っているが、これも人事異動等の影響によるのですか。

●事務局

職員の年齢層などによっても変わりますが、上水道は浄水場があるため、人数が多くなっています。

●委員

表のまとめ方として、水道業務経験年数度の項目はどのような意味を持っているのですか。

●委員

これは一般的な指標で、草津市の数値だけで判断するのではなく、他の自治体と比較するための指標だと思います。また例えば民間に委託した場合には市役所の担当者が減り経験年数が減少します。そのことにより人件費は減りますが、逆に委託料は増加します。水道業務経験年数度が減少すると、委託先の職員の方が業務に詳しく職員がわからないという危険があります。

●委員

企業庁でも、ベテラン職員の大量退職を予定している一方で、職員採用を控えた時期があるため、ベテラン職員と若手職員との間の技術継承を担う職員が少ない状況です。

今後、技術継承をどのように行っていくかは、水道事業全体の課題です。

●委員

経年化管路率を17%に設定している考え方を聞かせていただきたい。

●事務局

現時点での老朽管は少ないのですが、今後、40年ほど経つと大量に更新していかなければなりません。更新する費用のバランス等を考えながら、戦略的に17%に設定しています。さらに、水道管の法定耐用年数は60年ですが、管のまわりを補修すれば80年、100年もつという管が出てきておりますので、そのあたりも勘案しております。

●委員長

目標設定時の実態との関係はどうか。平成33年には経年管が17%しかないということですか。

●事務局

毎年10kmの更新をしていく予定となっており、その場合、平成33年に17%の経年管が残ることになります。

●委員

17%の水準をずっと維持していこうということですか。

●事務局

17%という数字が確かに良いのかどうかというところはあります。今後、毎年の更新延長の距離についても、草津市の特性を見ながら考えていきたいと思っています。

●委員長

県でも水道ビジョンを作っておられるが、他の事業体との比較があると良いと思います。草津市は良好だと思っています。

(4) 草津市下水道事業第7期経営計画（後期）の目標と実績について

●事務局

< 資料に基づき説明 【資料2】 P27～31 >

●委員

下水道未整備地区というのは、水洗化がされてないということですか。

●事務局

その地区につきましては、私道などの関係で下水道の整備ができていないところになります。

●委員

農業集落排水事業地区は水洗ではないのでしょうか。

●事務局

この地区については農業集落排水処理場を設けています。水洗化もできており、各家庭の汚水を地区ごとに処理をして流しています。今後、公共下水道への接続を予定しています。

●委員

資料29ページの総合地震対策の平成28年度実績値が6.2%で低くなっていますが、計画値とずれたまま経営計画期間が終わるということでよろしいですか。

●事務局

第7期経営計画期間での計画と実績が違っている部分は、今回結果として報告させていただき終わるということですが、直近の状況もふまえて平成29年度からの第8期経営計画で引き続き進捗管理をしていきます。

●委員長

第8期の進捗管理をお願いしたいと思います。

(5) 平成29年度主要な事業内容について

(6) 今後の予定について

●事務局

< 資料に基づき一括して説明 【資料2】P32～37 >

●委員

マンホールカードは人気があり、他府県の方も取りに来られます。平成30年度に拡充されるとのことですが、同じデザインになるのですか。

●事務局

現在のマンホールカードは、東海道五十三次のデザインのものを草津宿街道交流館で配布していますが、平成30年度は新しい図柄のものを追加で作成し、配布も別の場所で行う予定です。

●委員

楽しみにしています。

●委員

平成29年度の決算の見込みを6ページのグラフで表すと、どのようになりますか。

●事務局

平成29年度につきましては、現在事業を執行中ですので、今の段階ではまだ詳しい数字は出せませんが、平成29年度の水道事業の当初予算としましては、収益が25億9,300万円、費用が22億6,300万円となっております。決算時には金額の変動がありますが、純利益は平成28年度と同程度の額を得られると見込んでいます。

●委員長

計画どおりに進められているということが、わかりました。

(7) 浄水場耐震補強事業の概要について

●事務局

< 資料に基づき説明 【資料4】 >

●委員長

工事中に不足する水はどうする予定ですか。

●事務局

県からの受水分の増量と、北山田浄水場からの水によって賄う予定となっております。

●委員長

他に御意見、御質問はありますか。よろしいでしょうか。

それでは、これで閉会とさせていただきますと思います。

4. 閉会

---

●事務局

閉会にあたりまして、一言お礼を申し上げます。

本日はお忙しいところ、長時間にわたり御審議をいただき、ありがとうございました。

本日いただいたご意見を基に、あらゆる機会を通しまして、より健全で安定した経営が出来るように努力してまいりたいと考えております。

委員の皆さまにおかれましては、今後も引き続き本市の上下水道事業に対し、御意見、御提言などを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます、簡単ではございますが、閉会にあたっての御挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。